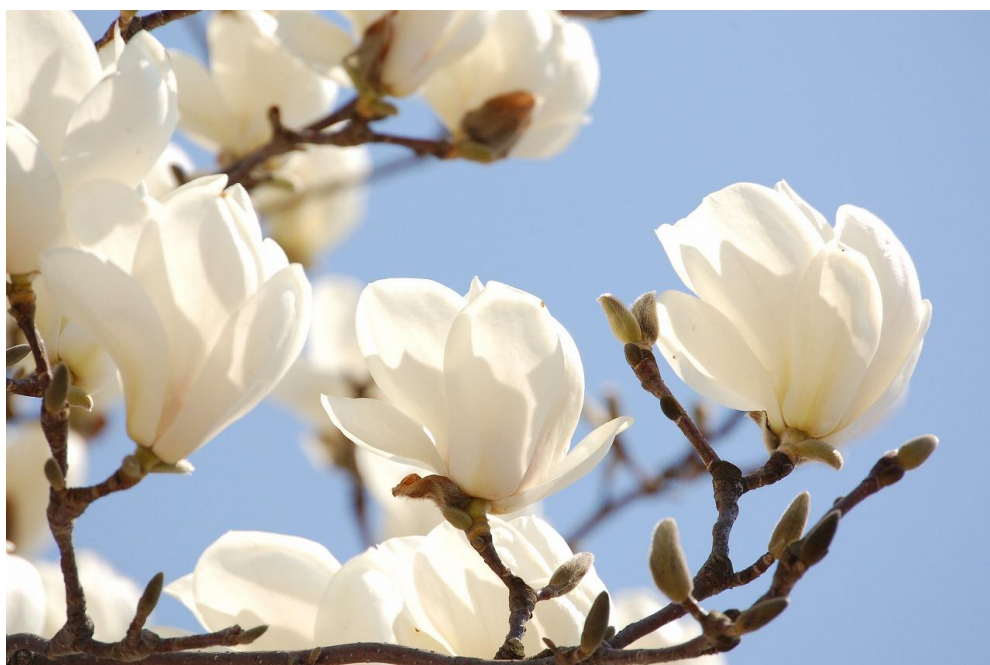


消 防 年 報

平成 2 6 年 版



市の木「こぶし」(たむしば)



南 魚 沼 市 消 防 本 部

まえがき

この消防年報は、南魚沼市と湯沢町における平成 26 年中の主要な消防業務と消防現勢について収録し、消防業務について広く理解を求めるとともに、多方面にわたり資料として利用されることを願って編さんしたものであります。

各表は、主に平成 26 年 12 月 31 日現在をもって作成されていますが、これによらない表及び単位については必要に応じ各表の上部に記載してあります。

〈市町村合併について〉

平成 16 年 11 月 1 日に六日町と大和町が合併し、南魚沼市が誕生しました。平成 17 年 10 月 1 日には南魚沼市と塩沢町が合併し、新たな南魚沼市となりました。

このことから、平成 18 年 3 月 31 日に南魚沼地域広域連合を解散し、同年 4 月 1 日から湯沢町における消防事務（消防団事務を除く。）を受託、名称を南魚沼市消防本部と改名し、現在に至っております。

なお、平成 19 年 4 月 1 日から旧町（塩沢町、六日町、大和町）3 団が南魚沼市消防団の 1 団体制となり、六日町方面隊、大和方面隊、塩沢方面隊に編成されました。

平成 27 年 3 月

南魚沼市消防本部

構成市町の章



南魚沼市



湯沢町

目 次

あ ゆ み

(庶務)

1 概要	1
2 南魚沼市消防本部機構	3
3 歴代管理者・広域連合長・市長 消防長・署長	4
4 職員階級別配置状況	6
5 職員階級別年齢状況	6
6 職員の特殊技能・その他資格取得状況	7
7 職員研修受講状況	8
8 主な業務	9
9 過去5か年の消防費決算状況	10
10 消防相互応援協定	11
11 緊急消防援助隊登録状況	11

(消防団)

1 南魚沼市消防団組織図	13
2 歴代消防団長・方面隊長	14
3 消防団の主な業務	16
4	17
5 年代別、階級別編成状況グラフ	18
6 退職・新任団員数	18
7 南魚沼市消防団員報酬・報償額	19
8 消防団別主な表彰歴	20

(通信指令・気象)

1 災害種別受信件数	21
2 月別気象状況	22
3 過去3か年の月別降水量	23
4 過去3か年の月別平均気温	23
5 過去2か年の月積雪深	24

(予防)

1 火災発生状況	25
2 火災種別発生件数	26
3 曜日別火災発生件数	26
4 月別火災発生件数	26
5 原因別火災発生件数	27
6 過去10か年の原因別火災発生件数	27
7 時間帯別発生件数	28
8 火災発生件数の推移	28
9 市町別防火対象物数・ 防火対象物立入検査実施状況	29
10 防火管理者選任状況・消防訓練指導状況	30
11 業態別中高層防火対象物数	31
12 消防用設備等検査状況	32
13 建築同意状況 (1)用途別、市町別建築同意件数	33

(2)工事別、市町別建築同意件数	33
(3)建築同意の推移	33
14 市町別中高層防火対象物数	34
15 幼年消防クラブ結成状況	34
16 少年消防クラブ結成状況	34
17 婦人防火クラブ結成状況	35
18 甲種防火管理新規講習会受講者数の推移	35
19 南魚沼地域防火協会、参加団体数、会員数の推移	35
20 危険物施設数・危険物施設の許可・検査実施状況	36
21 危険物製造所等の申請、届出事務処理状況 防火ポスター	37 38

(警防)

1 火災出動状況	39
2 救助出動状況	39
3 災害出動状況	39
4 消防施設の現況	40
5 消防ポンプ自動車等現有状況 (消防団)	40
6 公設水利の現況	41
7 耐震性貯水槽 (防火水槽) 設置状況	40
8 消防装備配置状況 (1)車両	42 42
(2)器具等	42
(3)無線局 (機) 数	44
(4)消防緊急通信指令施設 (II型)	45
(5)気象観測機器	46
(6)救急機材	47

(救急)

1 署別救急出動状況 (1)事故種別出動件数及び搬送人員数 (2)月別出動件数及び搬送人員数	48 48
2 事故種別男女別搬送人員数	49
3 住所別搬送人員数	49
4 年齢区分別搬送状況 (1)事故種別搬送人員数 (2)傷病程度別搬送人員数	50 50
5 地域別出動状況 (1)地域別出動件数 (2)平均現場到着時間等の状況	51 51
6 地域別出動件数の推移	52
7 応急手当普及啓発活動状況	52
8 医療機関別搬送状況	53

あゆみ

昭和 44 年	4 月 1 日	六日町・塩沢町消防事務組合発足(職員4名)
	8 月 7 日	塩沢町立舞子小学校火災
	8 月 12 日	水害六日町対策本部設置
	12 月	消防庁舎完成(第1期)
昭和 45 年	1 月 1 日	消防署発足・業務開始(職員署長以下25名)
	3 月	A級救急車導入
	8 月	B級救急車寄贈される
	12 月	水槽付消防ポンプ自動車導入
昭和 46 年	7 月 26 日	県立六日町高校火災
	10 月 1 日	中部消防応援協定締結
	11 月 3 日	六日町市街地火災(2棟死者1名)
昭和 47 年	4 月 1 日	湯沢町・大和町加入し組合名称を魚沼消防事務組合に改称
	10 月 1 日	湯沢町・大和町に分署庁舎完成 業務開始(職員16名を採用・両分署に消防ポンプ自動車・救急車を配置)
昭和 48 年	7 月	消防審議会発足
	9 月 29 日	中部消防応援協定協議会救助訓練(六日町)
	10 月 30 日	スノーケル車(16m級)本署に配置
昭和 49 年	1 月	消防本部・署庁舎増築(第2期)
	2 月 18 日	ホテル火災(六日町)
	4 月 1 日	南魚沼郡休日救急外科在宅当番制開始
	10 月 20 日	新潟県総合防災訓練を六日町で開催
昭和 50 年	1 月 20 日	昭和50年 1月20日 プロパンガス爆発事故(塩沢町大字関 死者1名、負傷者3名、全壊1戸、損壊11戸)
	4 月 1 日	消防署 隔日勤務を2交代制から3交代制に移行
昭和 51 年	2 月 3 日	泡放射砲を購入し本署に配置
	6 月 1 日	消防の一部事務組合を解散し、南魚沼郡広域事務組合と合併
	9 月 30 日	本署配置の水槽車を化学車に改造
昭和 52 年	1 月 7 日	六日町豪雪対策本部設置
	7 月 15 日	トンネル火災(上越新幹線湯沢北工区 負傷者40名全員救出)
昭和 53 年	2 月	ドア付消防ポンプ自動車本署に配置
	2 月	豪雪対策本部四町に設置
	6 月 26 日	魚沼地方集中豪雨

	8月20日	第29回新潟県消防大会を六日町で開催
	10月	湯沢分署・大和分署庁舎増築
	10月5日	プロパンガス爆発(大和町大字浦佐 死者1名、負傷1名、全壊1戸、損壊11戸)
昭和 54年	12月27日	ホテル火災(湯沢町大字湯沢)
昭和 55年	2月16日	六日町豪雪対策本部設置
	3月17日	湯沢町に無線サイレン吹鳴装置設置
	3月28日	救急医療情報システム導入
	7月13日	南魚沼郡防火協会設立
	11月27日	消防100年記念消防団全国大会開催(東京)
昭和 56年	1月6日	56豪雪 豪雪対策本部四町に設置
	2月9日	スキー場で雪崩(六日町大字坂戸 軽傷者1名)
	2月	消防本部・署庁舎増築(第3期)
	6月21日	広域消防10周年記念式典開催
	7月3日	六日町消防団 坂戸スキー場の雪崩災害で県知事表彰
	8月23日	集中豪雨により六日町の魚野川氾濫被害発生
	10月1日	防火対象物表示公表制度の施行
	12月20日	消防庁C型救急指令装置導入及びテレホンガイドサービス開始
昭和 57年	3月3日	魚沼消防本部・六日町消防団 消防庁長官表彰旗受章
	4月1日	利根沼田広域市町村圏整備組合と、消防相互応援に関する協定締結
	12月4日	休日診療所を六日町保健センターに移設
昭和 58年	12月11日	工場火災(六日町大字泉)
昭和 59年	2月8日	59豪雪 豪雪対策本部四町へ設置
	2月29日	雪崩災害(湯沢町大字湯沢 湯元 民家直撃2名救出)
	4月1日	第2次病院群輪番制、休日夜間救急診療開始
	4月11日	救助隊編成
	6月12日	救助訓練塔完成
	9月15日	新潟県総合防災訓練を湯沢町で開催
	11月8日	関越自動車道湯沢ICまで供用開始
	12月17日	湯沢町消防団 消防庁長官特別表彰を受賞(雪崩災害救助活動)
昭和 60年	2月17日	ホテル火災(湯沢町大字湯沢)
	9月26日	第1回関越トンネル総合防災訓練開始
昭和 61年	11月11日	六日町少年婦人防火委員会設立
昭和 62年	2月26日	本署に大型救助工作車配置
	11月6日	湯沢分署・大和分署に水槽付消防ポンプ自動車配置
昭和 63年	3月3日	JR上越線湯沢町土樽地内で展望列車「アルカディア号」火災発生
	12月4日	ビル火災(湯沢町大字湯沢西中 死者2名)
平成 元年	4月1日	消防緊急情報システムⅡ型導入及び順次指令装置、新テレホンガイド導入

	9月1日	管内リゾートマンション特別査察
平成 2年	1月1日	新潟県広域消防相互応援協定締結
	3月8日	塩沢町消防団 消防庁長官表彰旗を受賞
	3月20日	指令室に地図検索装置及び自動気象観測装置を導入
	6月6日	日本消防協会東北支部消防連絡会議開催(湯沢町)
	6月23日	広域消防20周年記念行事開催
平成 4年	1月10日	湯沢分署新庁舎移転、業務開始
	4月3日	南魚沼幼少年婦人防火委員会設立
	9月6日	六日町婦人防火クラブ結成
	12月16日	湯沢分署、はしご付消防自動車(35m級)を配置
平成 5年	3月3日	湯沢町消防団、消防庁長官表彰旗を受賞
	6月8日	救急車に患者監視装置(プロバックモニター)を装備
	7月19日	本署、防火広報車を導入
	11月	湯沢分署、救助訓練塔完成(主塔、副塔)
平成 6年	12月1日	各団に小型動力ポンプ付軽積載車を貸与
	12月15日	大和分署、新庁舎移転 業務開始
平成 7年	4月1日	新潟県消防防災ヘリコプター運用開始
	9月1日	塩沢町婦人防火クラブ結成
	9月1日	大和分署、県消防防災ヘリコプター給油施設設置
	11月29日	本署、消防車庫棟新築
平成 8年	4月1日	南魚沼郡山岳遭難防止対策協議会へ加入
	5月31日	放射能防護服、放射能測定器配備
	12月7日	長野県蒲原沢土石流災害現場へ応援出動(第1次隊)
	～9日	
	12月12日	同上(第5次隊)
	～14日	
	12月20日	本署、はしご付消防自動車(24m級)を配置
平成 9年	9月11日	湯沢分署、救急車新規購入し2台体制となる
平成 10年	3月7日	自治体消防50周年記念式典(日本武道館)
	4月1日	六日町病院に「心電図伝送受信装置」を設置
	10月28日	携帯電話から119番通報運用開始
平成 11年	1月20日	本署、小型ポンプ付水槽車を新規配置
平成 12年	2月4日	湯沢分署、高規格救急車を新規配置
	4月1日	関越トンネル内救急業務を道路公団より引き継ぐ
平成 13年	1月1日	本署、非常用自家発電設備を設置
	1月4日	中越地区地震
	2月12日	スキー場で雪崩災害(大和町大字五箇 軽傷者1名)

	3月19日	南魚沼郡広域事務組合を解散し、南魚沼郡広域連合を設立
	4月1日	指令室指令台「消防緊急通信施設(Ⅱ型)」に更新及び新発信地表示システムを導入
	8月	六日町欠ノ上地内に県消防防災ヘリコプター緊急離着陸場を設置
	12月25日	塩沢町消防無線サイレン新設
平成14年	4月1日	南魚沼メディカルコントロール協議会設立
	11月25日	大和町婦人防火クラブ結成
平成15年	8月24日	第54回新潟県消防大会を湯沢町で開催
平成16年	4月27日	全国消防長会東北支部総会(湯沢町)
	7月13日	新潟・福島豪雨(7.13水害)13～15日災害応援
	10月23日	新潟県中越地震 25～31日災害応援
	11月1日	六日町、大和町合併し南魚沼市となる
	11月1日	南魚沼郡広域連合を南魚沼地域広域連合に名称変更する
平成17年	4月1日	緊急消防援助隊登録(消火隊・救助隊・救急隊各1隊)
	10月1日	南魚沼市と塩沢町が合併する
	10月25日	携帯119受信装置整備運用開始
	11月30日	湯沢分署、自家発電設備を設置
平成18年	1月6日	平成18年豪雪 市町に豪雪災害救助法適用
	2月28日	本署、指揮隊車を配置
	3月17日	大和分署、自家発電設備を設置
	3月31日	南魚沼地域広域連合を解散する
	4月1日	南魚沼市消防本部となる。湯沢分署を湯沢消防署に格上げ
	4月1日	南魚沼市六日町消防団、南魚沼市大和消防団、南魚沼市塩沢消防団と改名する
	11月28日	大和分署、高規格救急車を配置
平成19年	4月1日	六日町消防団、大和消防団、塩沢消防団を合併し南魚沼市消防団1団体制となる
	7月16日	新潟県中越沖地震 16～26日災害応援
	9月6日	北越急行との合同訓練 参加人員75名
	10月2日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練 参加人員200名
	10月14日	南魚沼市消防団秋季連合演習 六日町小学校 参加人員1,192名
平成20年	3月7日	自治体消防60周年記念式典(日本武道館)において、南魚沼市消防団(塩沢方面隊)日本消防協会長特別表彰「まとい」受賞
	7月27日	集中豪雨(ゲリラ豪雨)発生により、城内地区、東地区内河川において河川土砂災害発生
	8月29日	第37回全国消防救助技術大会(北九州市)初出場(引揚チーム5名)
	10月16日	関越自動車道大和スマートインターチェンジ供用開始
	10月23日	県立六日町病院多数傷病者合同救助訓練(参加者240名)
	11月28日	社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車寄贈により本署、高規格救急車2台体制となる
	12月22日	湯沢署、指揮隊車を配置

平成 21 年	2 月 17 日	第64回トキめき新潟国体のスキー競技が南魚沼市(石打地区)及び湯沢町で開催
	～ 20 日	
	4 月 9 日	新潟県消防長会春季総会(開催地:南魚沼市消防本部)
	～ 10 日	
	5 月 16 日	新型インフルエンザ(A/H1N1)患者が国内で発生、管内では6月23日に発生し流行拡大
	7 月 23 日	フジロックフェスティバル(苗場)期間中救急隊1隊を現地(湯沢町浅貝)に常駐
	～ 27 日	
	8 月 20 日	第38回全国消防救助技術大会(横浜市)に出場(ロープブリッジ救出チーム4名、ロープブリッジ渡過)し、2種目とも入賞
	9 月 28 日	患者等搬送事業乗務員定期講習
	10 月 16 日	中部消防応援協定協議会を南魚沼市で開催
10 月 23 日	中越大震災5周年記念追悼式(長岡市)	
平成 22 年	2 月 10 日	南魚沼市消防団が日本消防協会長から表彰旗を受賞
	6 月 27 日	消防本部新庁舎の建設工事が始まる
	8 月 27 日	第39回全国消防救助技術大会(京都市)に引揚救助チームが出場し、入賞する。(全国大会へは3年連続出場)
	9 月 1 日	新潟県防災訓練が魚沼市で開催、当本部より救助隊1隊が訓練参加
	9 月 3 日	北越急行との合同訓練 参加人員21名
	11 月 13 日	南魚沼市・湯沢町危機管理フォーラム2010開催
平成 23 年	1 月 31 日	平成23年豪雪 市に豪雪災害救助法適用
	3 月 11 日	東日本大震災発生
	3 月 12 日	長野県北部地震発生
	3 月 14 日	緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ出動(延べ派遣人員276名)
	～ 5 月 10 日	
	7 月 27 日	新潟・福島豪雨災害発生 消防団員延べ約4,400名出動
	～ 29 日	
	9 月 1 日	消防本部新庁舎供用開始
	11 月 9 日	緊急消防援助隊の活動について総務大臣表彰を受賞
	平成 24 年	1 月 30 日
1 月 31 日		南魚沼市に豪雪対策本部設置
2 月 3 日		南魚沼市全域に災害救助法適用
2 月 20 日		南魚沼市消防団が防災功労者消防庁長官表彰を受賞
5 月 24 日		国道253号八箇峠トンネル内爆発事故発生 新潟県広域消防相互応援協定により県下14消防本部から48隊 233名の応援を受ける。68時間による救出活動で4名救出
10 月 30 日		ドクターヘリ運航開始
平成 25 年	2 月 22 日	南魚沼市に豪雪対策本部設置 六日町地域、大和地域に災害救助法適用

	2月24日	塩沢地域に新潟県災害救助条例適用
	4月1日	初の女性消防吏員採用
	4月1日	南魚沼市消防団再編により大和方面隊(5分団45部から4分団19部へ)が新体制となる
	5月16日	消防本部訓練塔工事着工
	9月2日	南魚沼市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
平成 26 年	3月31日	消防本部訓練塔竣工
	4月1日	南魚沼市消防団再編により六日町方面隊(4分団53部から26部へ)、塩沢方面隊(4分団50部から27部へ)が新体制となり再編完了 南魚沼市消防団に女性部設立
	5月19日	消防救急デジタル化事業本体工事の仮契約を締結し、2か年の整備事業開始
	10月13日	南魚沼市消防団女性部の発足式開催
	11月28日	大峰山基地局の土木工事完了